

龍源寺としてはこの寺子屋塾で心を磨いていくことを願っています。人間、何をなしていくにもこの心が出発点であります。夢をもち、実現させるのもすべては心から始まります。

毎年行っていきたいと思つて今までの来年度もお待ちしております。来年は子供たちの感性を磨く授業も考えておりまます。よろしくお願ひします。



最終日に記念撮影

龍源寺としてはこの寺子屋塾で心を磨いていくことを願っています。人間、何をなしていくにもこの心が出発点であります。夢をもち、実現させるのもすべては心から始まります。

生徒の中からは現代の日本を形作った様々な人材を輩出しております。

子供たちはみんな素直で、教えているこちら側も地域や国の未来を明るく感じさせてくれる存在がありました。

皆さまもご存じのように龍源寺では幕末の時代、赤山義塾という寺子屋塾を開講しておりました。

生徒の中からは現代の日本を形作った様々な人材を輩出しております。

八月十八日（二十四日）の一週間、昨年度より再開致しました寺子屋塾を今年も開講しました。今年からは対象を小学生にし、坐禅、英語、夏休みの宿題、自習という内容で行いました。龍源寺寺族の恵莉は中学高校の英語教員免許をもち、児童館で働いた経験もありますのでその経験を活かして先生として参加してもらいました。

子供たちはみんな素直で、教えているこちら側も地域や国の未来を明るく感じさせてくれる存在がありました。

皆さまもご存じのように龍源寺では幕末の時代、赤山義塾という寺子屋塾を開講しておりました。

生徒の中からは現代の日本を形作った様々な人材を輩出しております。



授業の様子

## 龍源寺 寺子屋塾開講

◎編集発行◎  
〒949-8311  
新潟県中魚沼郡津南町中深見  
深見山 龍源寺  
☎(025)765-3055  
http://www.shinkenzan.com

# 龍源寺報

## 寺子屋塾と坐禅

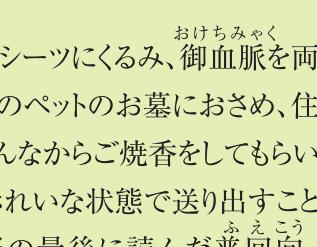
寺子屋塾では勉強を始める前に十五分（二十分钟左右）の坐禅を行います。子供たちは坐禅のようにじつとしているなければならない経験は案外しません。どうしてもモジモジ動いてしまうこともあります。その時に子供たちに伝えることは、「体が動いてしまうのは、心が動いてしまっているということなんだよ。心に波風がたつと体は動いてしまってますよ」

ということです。坐禅を通して子供たちは平常心を養つてもらいたいと私は考えます。受験でもスポーツでも武道でも人前で挨拶をしなきやいけない時でもなんでも、自分の培ってきた、努力してきた実力を如何なく發揮するのに鍵になります。

認させ、シロに向かって小さい声で鳴いていたのでシロの死を理解した様子でした。

発見した日の夕方五時に、シーツにくるみ、御血脉を両手にはさんでもたせ、龍源寺のペットのお墓におさめ、住職・副住職で御経を読み、みんなからご焼香をしてもらいました。発見も早かったのできれいな状態で送り出すことができてよかったです。御経の最後に読んだ普回向、「願わくはこの功德をもって普く一切に及ぼし、我らと衆生と皆共に仏道を成せんことを」とお唱えした時、シロの尊い命を無駄にしないで、自分たちの道を成すことに生きていかなければならぬなど強く心に思いました。

雪が降るまではロウソクと線香をあげている毎日です。人も動物も植物もすべて、同等の命であるのだなど改めて感じました。



リンとぬくぬく

るのは心の状態にあります。本番に普段の心の状態と同じようにもつていくのは難しいことです。努力して練習を本番のよう

に、本番は練習のようにもつていく

変にどんな状況においても自分らしく力をだすには、やはりその

ことで心技体を一致させていくこと

のも大切かもしれません。臨機

応变にどんな状況においても自分

らしく力をだすには、やはりその

時その時に応じて心を平静に保つ

こと

でしよう。技も体も磨けていても、心を磨くということはなかなか難

しいのではないでしょうか。心が磨かれていないとせつかく結果を残しても、心に驕りが生じ、そこから生

まれる縦びが不幸を生んでしまいます。

坐禅を通じて心の在り方を子供たちに伝えていかればと思つてい

## 平成二十五年年回表

一周忌	平成二十四年	十三回忌	平成十三年
三回忌	平成二十三年	十七回忌	平成九年
七回忌	平成十九年	二十五回忌	平成元年
三十二回忌	昭和五十六年		

